

工学研究科・工学部意見箱回答用紙

【タイトル】 情報知能システム総合学科の手書きレポートについて

【意見・要望】

情報知能システム総合学科の第4セメスター以降の実験レポートが手書きレポートである件について再考の余地が十分にあると思いますので意見を申し上げます。

枚数が何十枚にも及ぶ実験レポートを「手書き」を強要して書かせることがいかに勉学の非効率化を招くのかをご理解いただきたいです。

この非効率化の問題点として以下の2点が挙げられます。

1. 良質なレポートを書くやる気を喪失してしまうこと

こちらは自然科学総合実験でだいぶ思い知りました。

せっかく文献を用いて深いところまで調べても、「手書き」であるため、それをレポートに書いて深く考察する気がまったく起きません。

さらに、手書きでは推敲がかなりし辛いので、結局良質なレポートが出来ません。

そして最終的に、「手書き」であるがために、書くことが面倒になり、思考停止状態で過去レポートや友人のレポートを写すといった「至極無意味」な作業となってしまいます。

2. 余分な時間を奪われる

「手書き」によって、余分な時間を奪われるのが非常に困ります。3セメスターになり専門科目が増え、内容が難関になってきた為、復習を十分したいし、更に英語力をつけたく自主的な英語学習をしたいのに、「手書き」によってせっかくの別の勉強をする時間がカットされるのは納得がいきません。

どうして大学になってまで、コピペをしてレポートを書くような「意識の低い者」に合わせて、「普通に学習したい者」が「手書き」を強いられなければならないのでしょうか。

教授はよく、コピペしたレポートは100%見破ることができます、と言います。

必ず見破ることが出来るのであれば、コピペをした者だけ手書きを強要すれば良いのではありませんか？

どうして何年間もただ「惰性」のように全員手書きを強要してるのか、私にはその真意が分かり兼ねます。

正直に申し上げますが、このまま4セメスター以降、手書きのままレポートを強要されては、実験という科目では自分は全く成長しないと思います。

同じように考えてる方が、他にも多くいるはずです。

早急な改善を希望します。

【改善に向けた具体的提案】

レポートを手書きのみならずパソコンの使用も認める

投稿内容公開の可否

該当□にチェック

可 否

【担当部署からの回答】

学生実験レポートの作成において、「手書き」のみならず「パソコン使用」を認めるべきとの提案に対して、学生実験委員会にて検討しました。実験レポートを手書きにするという手順には、単に剽窃を防ぐという点だけではなく、内容をよく吟味して文章を推敲するという視点もあり、これまで実施してきました。一方、研究室に配属されたあとでの研究論文作成等では「パソコン使用」が必須であり、その習熟も早めに進めるべきであるという点や、各科目での講義外学習の重要性が増えてきている状況もあり、「手書き」のみの方式を一部見直すことにしました。

今後は、パソコン使用によるレポート作成も認めることとしますが、「パソコン使用」により文章の推敲がより容易になりますので、レポート体裁を整え、論理的な深い考察を行った良質なレポートを作成するよう、より一層の努力を学生の皆さんに求めることとします。

回答部署 学生実験委員会(電気・情報系6コース)

回答日 平成27年7月8日